

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

675

産業活性化推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	1	地域を支える既存産業の振興
施策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	1	製造業の強みを次世代に引き継ぐための中核的企業の発掘と成長の促進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		商工費	
	目		商工総務費	
	大事業		商工総務事業	
	中事業		産業活性化推進事業	

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市産業振興ビジョン		
事業年度	～	担当課・担当課長・Tel	産業政策課	入山 喜一郎	435-1040
事業実施の根拠法令	和歌山市産業振興基本条例	関連課	全部局		

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	産業振興施策を総合的に推進し、本市経済の活性化を図る。		産学金官の有識者からなる和歌山市産業戦略会議を開催し、必要な産業振興施策を検討、総合的に推進する。		
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
	産業振興ビジョンに基づいた具体的な事業を各局局において検討し、産業振興アクションプランとして取りまとめを行う。アクションプランの策定にあたっては、産業戦略会議を2回開催し、委員からの意見聴取を実施する。また、産業振興ビジョンの印刷製本を行う。	産業振興アクションプラン(前期)の事業の進捗管理を図るとともに、内容の追加等を行う。進捗管理等にあたっては、産業戦略会議委員から意見聴取等を実施する。	産業振興アクションプラン(前期)の事業の進捗管理を図るとともに、内容の追加等を行う。進捗管理等にあたっては、産業戦略会議委員から意見聴取等を実施する。	・和歌山市産業戦略会議の開催または産業戦略会議委員から意見聴取等を実施する。 ・和歌山市産業振興アクションプラン(中期)を策定する。 ・和歌山市産業振興アクションプラン(前期)の進捗管理を行う。	産業振興アクションプラン(中期)の事業の進捗管理を図るとともに、内容の追加等を行う。進捗管理等にあたっては、産業戦略会議委員から意見聴取等を実施する。

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,169	2,016	1,244	756	1,034	569	1,023	0	1,023	0
伸び率(%)	△25.9%	△12.5%	△42.6%	△62.5%	△16.9%	△24.7%	△1.1%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	14,386	12,638	13,639	13,081	9,671	9,671	12,388	0	12,388
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	14,386	12,638	13,639	13,081	9,671	9,671	12,388	0	12,388
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	2,169	2,016	1,244	756	1,034	569	1,023	0	1,023	0
所要人数(人)	正規職員	1.81	1.59	1.71	1.64	1.21	1.21	1.55	0.00	1.55
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	附属機関委員報酬及び費用弁償330千円、会場その他借上料247千円、手数料511千円 2月補正により報酬及び費用弁償165千円、会場借上料123千円減額補正									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
和歌山市産業戦略会議の開催		回	目標値	2	1	1	1	1
			実績値	2	0	0		
			達成度(%)	100%	0%	0%	0%	%
和歌山市産業振興アクションプランの策定、進捗管理		冊	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>本市の産業振興施策の方向性を明確にするため、「和歌山市産業振興ビジョン」を策定し、それに基づく事業を各部署で検討し、「産業振興アクションプラン」として取りまとめて進捗管理を図る事業である。</p> <p>人口減少や少子高齢化などによって、まちの活力が低下していく恐れがある中で、本市の経済活性化は喫緊の課題であり、産業振興を総合的に取り組むための本事業を今後も推進していく必要がある。</p>
見直し・改善内容	<p>アクションプランの進捗状況についてわかりやすくまとめる必要がある。</p>